

令和元年度 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会馬術競技場における
衛生管理委託事業に係わる「マダニ駆除計画」に関する第 3 回有識者会議議事録

日時：令和元年 9 月 13 日（金） 10:00～11:00

場所：農林水産省 第 3 会議室（145）

参加者：農林水産省 山木課長補佐

川崎係長

寺田獣医学博士

住友化学㈱ 千保チーリーグ

国際衛生㈱ 犬塚副部長、鈴庄（記）

※アグリマート㈱白井薬剤師様：欠席。後日、資料と議事録を確認いただく。

令和元年度の馬事公苑および海の森公園におけるマダニ調査計画に関して、第 2 回調査結果の報告及び今後の方針確定を目的に、会議を実施した。以下、会議概要を示す。

【会議概要】

第 2 回マダニ調査の報告

- ・ 第 2 回マダニ調査について、概要を報告。（犬塚）
- ・ 第 2 回調査について、報告書に基づいて詳細を報告。（鈴庄）
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、フランネル調査、リター層調査でマダニは確認されなかった。
- ・ 海の森公園では、工事のため駐車場前植林地②及び③の調査は実施出来なかつた。
- ・ 2 種のトラップを用いたネズミ調査を実施。馬事公苑、海の森公園ともネズミは捕獲されなかつた。昨年、捕獲されたマダニは鳥が持ち込んだ可能性が高いと思われる。
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、8 月のプレオリンピックで使用された。コースはオリンピックに向けて再度工事を行い変更する予定。

今後の対応について

- ・ 8 月に開催されたプレオリンピックにて現地を確認。海の森公園では、フェンスが設置されており、調査箇所①にテント厩舎が設置、調査箇所②がスタート地点、調査箇所③～⑤は競技コースで調査箇所③がゴール地点でした。スタート地点では、多くの馬がいるので、馬同士の接触機会が多く、ゴール地点付近では競技後の馬の体温を低下させるために水をかけるので、馬が留まる箇所になると思われます。また、海の森公園では汚染地域から来た馬と非汚染地域から来た馬は分けない予定です（山木様）。
- ・ 第 3 回調査も従来と同じくフランネル調査、リター層調査、ネズミ調査を継続して実施する予定。第 1 回、2 回調査で実施出来なかつた厩舎周りに関しては、工場の状況によるが調査を実施予定。

- ・ 馬事公苑は工事が 10 月末まで実施される予定です。一部については、引き渡しが完了しており、持ち主が大成建設とは異なっています。11 月には持ち主は大成建設から変わる予定です（犬塚）。
- ・ 海の森公園では、現状、工事を実施していない東側植林地の池付近にカラスが多く確認されています。カラスによるマダニの持ち込みが懸念されますが、カラスの駆除予定はありますか？（犬塚）
→現状、カラスの駆除を実施する予定はありません（山木様）。
- ・ 現状、工事中のため、動物の持ち込み、散歩などは禁止されているが、工事完了からオリンピック本大会までの間も散歩などで犬などの小動物を出入りさせないことは非常に重要です。馬ピロプラズマ病原虫を媒介することが知られているマダニのうち現在日本で唯一認められるクリイロコイタマダニは犬を好むとされており、散歩などで犬を持ち込むことはこれまでの調査や取り組みを根底から覆すことになるので、農林水産省、JRA が協力して、オリンピック開催まで小動物を入れないように働きかけて頂きたい（寺田様）。
- ・ 次回調査では馬の動線を考慮して、ポイントを変えてもいいかもしれません（寺田様）。
- ・ 検疫の段階でマダニが馬に付着しているかを確認しますか？（寺田様）
→確認する予定です（山木様）。
- ・ 馬のエサは海外から持ち込まれるのですか（寺田様）？
→草に関しては、日本のものを乾燥したものを使用する予定です。穀類については、各国が独自に持ち込む予定です（山木様）。
→草にもマダニが付着しているリスクがあるので、海外から草を持ち込まれないことはリスク低減の面から良いと思います（寺田様）。
- ・ オリンピック本大会では、3 競技で約 300 頭の馬が集まります。全ての馬が一堂に会することはありませんが、馬の出入りは多くなると思います。また、スケジュールは直前にならないと決定しない予定です（山木様）。
- ・ 工事により、馬事公苑では、厩舎などが建設されるだけでなく、土の入れ替えも行われています（犬塚）。
→マダニの生息環境を変える草地更新は牛の放牧場でも実践されており、マダニ対策として効果的といわれています（寺田様）。

今後の予定

- ・ 第 3 回現地調査を 9 月 18 日（海の森公園）、19 日（馬事公苑）、20 日（ネズミトラップ回収）で実施予定。
- ・ 第 4 回有識者会議は第 3 回現地調査の観察完了後の 10 月中旬に開催予定。
- ・ 第 4 回現地調査は、有識者の方も同行予定。日程の調整を実施し、11 月中旬に実施予定。

以上